

科目名称	科目区分	配当年次	単位数	科目概要	到達目標（成績評価A）	単位修得目標（成績評価C）
サービス・ラーニング	文科 専門教育科目 各コース共通	1	2	グループでの課題解決学習と体験型学習により、みずから学び「自立」し、「友愛」により他者と協働して目標達成を目指す力（共立リーダーシップ）を身につける。グループでのディスカッション・作業や社会活動（ボランティア体験）を通じて、課題の内容を客観的に把握し、有効な解決策を導き出すための基本的能力を身につける。また、他者を論理的に説得するために必要な基本的スキルを身につける。さらに、上記の活動を適切に振り返ることで、今後の学業や進路（キャリア）について新たな視座を得る。	<ul style="list-style-type: none"> 多角的な視点から客観的に物事を理解し、主体的な判断のもと行動することができる。(DP1幅広い教養)(DP2社会への主体的な参画) 社会活動を通じて課題を総合的に検討し、解決するための基礎的能力を身につけている。(DP3専門的なスキル)(DP4課題の探求・表現) 目標を明確に掲げ共有した上で、率先して行動し、他者との相互支援関係を作ることで、創造的な協調活動を充分に行うことができる。(DP5友愛)(DP6リーダーシップ) 他者との協働や社会活動での体験学習を通して、今後の学業や進路について新たな視座を得ることができる。(DP1幅広い教養)(DP2社会への主体的な参画)(DP6リーダーシップ) 	<ul style="list-style-type: none"> 多角的な視点から客観的に物事を理解し、主体的な判断のもと行動することが最低限できる。(DP1幅広い教養)(DP2社会への主体的な参画) 社会活動を通じて課題を総合的に検討し、解決するための基礎的能力を最低限身につけている。(DP3専門的なスキル)(DP4課題の探求・表現) 目標を明確に掲げ共有した上で、率先して行動し、他者との相互支援関係を作ることで、創造的な協調活動を行うことができる。(DP5友愛)(DP6リーダーシップ) 他者との協働や社会活動での体験学習を通して、今後の学業や進路について新たな視座を検討することができる。(DP1幅広い教養)(DP2社会への主体的な参画)(DP6リーダーシップ)
文章表現法	文科 専門教育科目 各コース共通	1	2	他者に「提出」する文章に求められるもの、先行研究など他者の手による文章・データとの向き合いについて身近なテーマや資料を用いて考え、身につける。さらに「書く」目的に応じた語彙・表現を知り、日本語表現についての考察を深めたいうえで、文章資料の読解・分析の基本を理解する。それをおとして読み手のために最適な伝達方法を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> 論文等の文章を読んで、その文章の主題や構成を整理し、自分のことばで説明することができる。(DP1幅広い教養) 他者に情報を正確に伝えるための基本的な技術を用いて、自分の意見や考えを表現することができる。(DP3専門的なスキル) 課題を探索し、レポート等の文章に、自分の意見を述べていくための問題意識、構成力、表現力等を示すことができ、社会への主体的な参画ができる。(DP4課題の探求・表現) 文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションをし、テーマに対して出た答えを伝えることができる。(DP4課題の探求・表現) 	<ul style="list-style-type: none"> 論文等の文章を読んで、その文章の主題や構成について一定の説明ができる。(DP1幅広い教養) 情報伝達のための基本的な技術を用いて、自分の意見や考えに関する一定の表現ができる。(DP3専門的なスキル) 言語・文学・人間心理・文化の学修を通し自らテーマを見つけ出し追求する問題意識をもち、レポート等の文章に、自分の意見を述べていくための、構成力、表現力等を示すことができる。(DP4課題の探求・表現) 文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションをし、テーマに対して出た答えを伝える、社会への主体的な参画ができる。(DP4課題の探求・表現) 言語・文学・文化の学修を通して、社会を生き抜くためのコミュニケーション・スキルを身に付けていく。(DP3専門的なスキル)
コミュニケーション論	文科 専門教育科目 各コース共通	1	2	コミュニケーションとは、自分の考えや意見を相手に伝え理解してもらうことであり、また、相手の考えや意見を聞き理解することである。そのようなコミュニケーションのためには、何が必要なのだろうか。言語・非言語によるコミュニケーションについての多面からの学びをおとして、コミュニケーションの基礎的な知識・理論・技術を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションの理論に関する基礎的なことならについて具体的に説明することができる。(DP1幅広い教養) より豊かなコミュニケーションを図るために、習得した技術のなかから最適なものを自ら選択し、使用することができる。(DP3専門的なスキル) 他者と積極的な態度・姿勢でコミュニケーションすることができる。(DP2社会への主体的な参画) 自分なりの課題を見つけ、それを探索し表現できる。(DP4課題の探求・表現) 友愛と結びつくリーダーシップを発揮できる。(DP5友愛・リーダーシップ) 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションの理論に関する基礎的なことならについて、一定の説明ができる。(DP1幅広い教養) より豊かなコミュニケーションを図るために、習得した技術を使用することができる。(DP3専門的なスキル) 他者とコミュニケーションするための態度をとることができる。(DP2社会への主体的な参画) 友愛と結びつくリーダーシップを発揮できる。(DP5友愛・リーダーシップ)
伝える技術	文科 専門教育科目 各コース共通	1	2	自分の考えや意見を相手に効率的に伝えるための知識・技術を身につける。身近なテーマや資料を用いながら、他者に伝えるべき内容の理解・整理の方法や、それを的確に他者に伝えるための方法、工夫のしかたについて、実践的に理解する。原稿の整理、読む練習・伝達するためのツールの利用をおとして、プレゼンテーションの基礎的な技術を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや意見を理解・整理し、簡潔に述べることができる。(DP1幅広い教養) 自分の考えや意見を他人に伝えるために、伝達方法の基礎的な技術のなかから、より効果的で効率的な方法を判断し表現できる。(DP4課題の探求・表現) プレゼンテーションの基礎的な技術を用いて表現することができる、社会への主体的な参画ができる。(DP3専門的なスキル) 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや意見を整理し、述べることができる。(DP1幅広い教養) 自分の考えや意見を他人に伝えるために、伝達方法の基礎的な技術を用いて表現できる。(DP4課題の探求・表現) プレゼンテーションの基礎的な技術を一定程度用いて表現し、社会への主体的な参画ができる。(DP3専門的なスキル)

科目名称	科目区分	配当年次	単位数	科目概要	到達目標（成績評価A）	単位修得目標（成績評価C）
伝統文化論	文科 専門教育科目 各コース共通	1	2	歴史・文学・宗教・絵画・芸術などの多様なジャンルをとおして、日本の伝統文化について学び、理解する。グローバル化が進むなかで、国際人として日本の文化を語れるようになるための、また、自らの人生を豊かなものにするための、知識・教養を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の多様なジャンルの伝統文化について、自分の言葉で具体的に説明できる。（DP1幅広い教養） ・日本の伝統文化についての話題で他文化圏の人と交流できる（DP2社会への主体的な参画）文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションをし、テーマに対して出た答えを伝えることができる。（DP4課題の探究・表現） 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の多様なジャンルの伝統文化について、ある程度の説明ができる。（DP1幅広い教養） ・日本の伝統文化についての話題で他文化圏の人と一定の交流ができる。（DP2社会への主体的な参画）文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションをし、テーマに対して出た答えを伝えることができる。（DP4課題の探究・表現）
地域文化論	文科 専門教育科目 各コース共通	1	2	共立女子短期大学の所在地・神保町について、町に息づく文化をとおして理解する。座学だけでなく、地域にも学びの場を広げ、実践的に地域文化を学んでゆく。また、地域との連携・協働を通して「共立リーダーシップ」を身につける。特定の地域の文化を深く理解し、他者が暮らす文化を知ることの大事さを感じとりながら、異文化理解とは何かを考察する。	<ul style="list-style-type: none"> ・神保町の文化について自分の言葉で具体的に説明できる。（DP1幅広い教養） ・主体的に地域やクラスメイトとかかわり、協働を通して「共立リーダーシップ」を身につける。（DP6リーダーシップ） ・自分たちとは異なる地域文化もしくは異文化について理解し、積極的な姿勢で反応し、また配慮することができる。（DP2社会への主体的な参画） ・友愛と結びつくリーダーシップを発揮できる。（DP5友愛・リーダーシップ） ・文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションをし、テーマに対して出た答えを伝えることができる。（課題の探究・表現） 	<ul style="list-style-type: none"> ・神保町の文化について説明できる。（DP1幅広い教養） ・地域やクラスメイトとかかわり、協働を通して「共立リーダーシップ」にある程度身につける。（DP6リーダーシップ） ・自分たちとは異なる地域文化もしくは異文化について理解することができる。（DP2社会への主体的な参画） ・文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションをし、テーマに対して出た答えを伝えることができる。（DP4課題の探究・表現）
サブカルチャー論	文科 専門教育科目 各コース共通	1・2	2	マンガ、アニメ、ゲーム、ポップミュージックなどの、カウンターカルチャーとされるものの特質と魅力を考える。とくに、近年、日本のサブカルは海外での評価が高いが、それらが広く受け入れられるグローバルな意味についても理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・中心と周縁が曖昧化している今日の、メイン・カルチャーから隔たったサブ・カルチャーの意義について深い理解をもつ。（DP1幅広い教養） ・サブ・カルチャーの持つ文化的エネルギーについて深い理解を有している。（DP1幅広い教養） ・カウンター・カルチャーの成果を通して日本文化を特質を批評的に捉え直し、グローバルな魅力を理解する優れた能力を身につける。（DP3専門的なスキル） ・文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションをし、テーマに対して出た答えを伝えることができる。（DP4課題の探究・表現） 	<ul style="list-style-type: none"> ・中心と周縁が曖昧化している今日の、メイン・カルチャーから隔たったサブ・カルチャーの意義について一定の理解を身につける。（DP1幅広い教養） ・サブ・カルチャーの持つ文化的エネルギーについて一定の理解を有する。（DP1幅広い教養） ・カウンター・カルチャーの成果を通して日本文化を特質を捉え直し、グローバルな魅力を理解する能力を身につける。（DP3専門的なスキル） ・文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションをし、テーマに対して出た答えを伝えることができる。（DP4課題の探究・表現）
ジェンダー論	文科 専門教育科目 各コース共通	1	2	社会には、女性と男性についての固定化されたイメージがある。テレビや、映画、新聞雑誌、文芸作品など、様々なメディアが再生産する「女性像」「男性像」あるいは理想とする「女らしさ」「男らしさ」をわれわれは無条件に受け入れ、それに縛られていることが多い。そうしたイデオロギーの歴史性を問いなおし、女性の新たな生き方について考察する。	<ul style="list-style-type: none"> ・生物学的性差に対して社会的性差を指すジェンダーが、いかに文化的に作り上げられるかを、幅広い教養をもち公平な視点から判断し、批判することができる。（DP2社会への主体的な参画） ・ジェンダーに対する批評的視点をおとして、自分が一人の人間として、セクシャル・アイデンティティを保ちながらどう生きていけばよいかを考え、自分のことばで具体的に説明することができる。（DP4課題の探究・表現） ・友愛と結びつくリーダーシップを発揮できる。（DP5友愛・リーダーシップ） ・文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションをし、テーマに対して出た答えを伝えることができる。（DP4課題の探究・表現） 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物学的性差に対して社会的性差を指すジェンダーが、いかに文化的に作り上げられているかについて幅広い教養をもち、一定の批判をすることができる。（DP2社会への主体的な参画） ・ジェンダーに対する批評的視点をおとして、自分が一人の人間として、セクシャル・アイデンティティを保ちながらどう生きていけばよいかを考え、一定の説明ができる。（DP4課題の探究・表現） ・友愛と結びつくリーダーシップを発揮できる。（DP5友愛・リーダーシップ） ・文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションをし、テーマに対して出た答えを伝えることができる。（DP4課題の探究・表現）

科目名称	科目区分	配当年次	単位数	科目概要	到達目標（成績評価A）	単位修得目標（成績評価C）
環境文化論	文科 専門教育科目 各コース共通	1	2	自然と文明、自然と人間の関わりは、近年、学問のテーマとして取り上げられるようになってきた。人間は、環境としての自然を文化としてどのように捉え、またつきあってきたのだろうか。神話、文学、祭祀等に環境としての自然がどのように描かれ、あるいは扱われているのかを理解する。	・人間が、環境としての自然を文化としてどのようにとらえ、またどうつきあってきたのかを自分のことばをもちいて具体的に説明できる。（DP1幅広い教養） ・神話、文学、祭祀等に環境としての自然がどのように描かれ、あるいは扱われているのかについて、自分のことばをもちいて具体的に説明できる。（DP4課題の探求・表現）友愛と結びつくリーダーシップを発揮できる。（DP5友愛・リーダーシップ）文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションをし、テーマに対して出た答えを伝えることができる。（DP4課題の探求・表現）	・人間が、環境としての自然を文化としてどのようにとらえ、またどうつきあってきたのかについて、一定の説明ができ社会への主体的な参画ができる。（DP1幅広い教養） ・神話、文学、祭祀等に環境としての自然がどのように描かれ、あるいは扱われているのかについて、一定の説明ができ社会への主体的な参画ができる。（DP4課題の探求・表現）友愛と結びつくリーダーシップを発揮できる。（DP5友愛・リーダーシップ）文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションをし、テーマに対して出た答えを伝えることができる。（DP4課題の探求・表現）
キャリアデザイン演習（就職・編入サポート）	文科 専門教育科目 各コース共通	1	2	卒業後の進路について、学生自身が具体的な将来像を思い描き、その実現に向けて必要とされる知識や技術、また、自己理解やコミュニケーションの力を演習形式で学び、身につける。	・専門的な知識や技能をふまえた進路選択について、他者と意見を交換することができる。（DP1幅広い教養） ・卒業後の進路について考え、具体的な将来像を思い描き、自分の言葉を用いて示すことができる。（DP2社会への主体的な参画） ・将来像の実現に向けて、特に就職活動に必要な知識やスキルを十分に身につけ、行動で示すことができる。（DP3専門的なスキル） ・自己分析や他者との共同作業をおして自己理解を深め、自らを積極的に評価できるようになる。（DP5友愛） ・多様な他者とのコミュニケーションをおして、多様な価値観を共有し積極的に反応できるようになる。（DP6リーダーシップ）	・専門的知識・技能と進路選択の関係について、部分的に自分の考えを表現することができる。（DP1幅広い教養） ・卒業後の進路について考え、一定の将来像を示すことができる。（DP2社会への主体的な参画） ・将来像の実現に向けて、特に就職活動に必要な一定の知識やスキルをある程度身につけ、行動で示すことができる。（DP3専門的なスキル） ・自己分析や他者との共同作業をおして自己理解を深め、自らを評価する観点を挙げるようになる。（DP5友愛） ・多様な他者とのコミュニケーションをおして、多様な価値観への認識を示すことができる。（DP6リーダーシップ）
出版メディア論	文科 専門教育科目 各コース共通	1	2	本や出版の歴史・文化を学びながら、本が成り立っていくプロセスや出版文化について学び、人間や社会において本が果たす役割・意義について考える。また、本を作るための編集・PC技術を身につける。	・本や出版の文化・歴史、および本の成り立ちについて、自分の言葉で具体的に説明できる。（DP1幅広い教養） ・本に関わる文化に対して積極的に関心を持ち、人間や社会に対して本がどのような役割を果たしているか、自分の言葉で具体的に説明でき、社会への主体的な参画ができる。（DP1幅広い教養） ・本の編集のための校正技術やPCスキルが十分身についている。（DP3専門的なスキル）	・本や出版の文化・歴史、および本の成り立ちについて説明できる。（DP1幅広い教養） ・本に関わる文化に対して積極的に関心を持ち、人間や社会に対して本がどのような役割を果たしているか説明でき、社会への主体的な参画ができる。（DP1幅広い教養） ・本の編集のための校正技術やPCスキルがある程度身についている。（DP3専門的なスキル）
ワークライフバランスと健康	文科 専門教育科目 各コース共通	1・2	2	健康の維持・増進のためには、正しい知識を身につけ、心身の健康を自ら管理するために必要な情報を選択することができる必要がある。自分自身のからだの機能について理解するとともに、各自のライフサイクルと各ライフステージにおける起こりうる健康課題について理解を深める。個人と個人を取り巻く人々の健康の維持・増進のために必要なことは何かを知り、改善策を考え生活の中で実践していくための基本的な知識と技能を身につける。	・基本的なからだの機能を理解し、心身の健康を守り管理していくために何が必要か考え、具体的に説明することができる。（DP1幅広い教養） ・変化していく各自のライフスタイルと各ライフステージにおける起こりうる健康課題について理解し、健康の維持・増進、疾病予防の改善策についても分析・考察し、具体的に説明することができる。（DP1幅広い教養） ・ヒトを取り巻く健康課題について多面的に関心を持ち、考察し、知識を他人と共有することができる。（DP5友愛）（DP6リーダーシップ）	基本的なからだの機能を理解し、心身の健康を守り管理していくために何が必要かについて一定の説明ができる。（DP1幅広い教養） ・変化していく各自のライフスタイルと各ライフステージにおける起こりうる健康課題について理解し、健康の維持・増進、疾病予防の改善策についても分析・考察し、おおよそ説明することができる。（DP1幅広い教養） （DP6リーダーシップ） ・ヒトを取り巻く健康課題について関心を持ち、一定の考察・説明ができる。（DP5友愛）（DP6リーダーシップ）

科目名称	科目区分	配当年次	単位数	科目概要	到達目標（成績評価A）	単位修得目標（成績評価C）
秘書実務を学ぶ	文科 専門教育科目 各コース共通	1	2	ビジネスの現場における基礎的な知識・技術を網羅している「秘書実務」をとおして社会との関わり方を学び、就職活動に直接つながる能力と、就職後も社会人の必須良識として役立つ「秘書実務」の知識を身につける。あわせて「秘書検定」の資格取得も目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら進んで主体的に授業に参加する。課題解決のために、他の学生と協調・協働できる。社会人としての、あるいは職業者としての基本的知識・ビジネスマナーを、ことばや態度をとおして具体的に示すことができる。(DP1幅広い教養) ・秘書検定2級レベルの知識や技能が十分に身につけている。(DP1幅広い教養) ・友愛と結びつくリーダーシップを発揮できる。(DP5友愛)(DP6リーダーシップ) ・言語・文学・文化の学修を通して、社会を生き抜くためのコミュニケーション・スキルを身につけている。(DP3専門的なスキル) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら進んで主体的に授業に参加する。課題解決のために、他の学生と協調・協働できる。社会人としての、あるいは職業者としての基本的知識・ビジネスマナーを、ことばや態度をとおしてある程度示すことができる。(DP1幅広い教養) ・秘書検定2級レベルの知識や技能がある程度身につけている。(DP1幅広い教養) ・友愛と結びつくリーダーシップをある程度発揮できる。(DP5友愛)(DP6リーダーシップ) ・言語・文学・文化の学修を通して、社会を生き抜くためのコミュニケーション・スキルをある程度身につけている。(DP3専門的なスキル)
ホスピタリティを学ぶ	文科 専門教育科目 各コース共通	1	2	接客に関連する場面を想定して、コミュニケーションが顧客に与える影響を学び、相手の意見を尊重しつつ自分の主張を伝える技術を身につける。また、接客者としてのホスピタリティやコミュニケーションの重要性を学び、関連する技能を身につける。「サービス接客検定」または「サービスマナー検定」の資格取得も目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・対人関係を円滑にする技術を学修し、社会生活において十分に表現できる。(DP2社会への主体的な参画) (DP3専門的なスキル) (DPリーダーシップ) ・ホスピタリティが顧客に与える影響について、他者と関わりながら、関連情報に基づき複数の観点から的確に考察し、意見を述べるができる。(DP4課題の探究・表現) (DP5友愛) ・サービス接客検定準1級レベルまたは接客サービスマナー検定2級レベルの知識・技能が十分に身につけている。(DP3専門的なスキル) 	<ul style="list-style-type: none"> ・対人関係を円滑にする技術を学修し、社会生活においてある程度表現できる。(DP2社会への主体的な参画) (DP3専門的なスキル) (DP6リーダーシップ) ・ホスピタリティが顧客に与える影響について、他者と関わりながら、関連情報に基づき複数の観点からある程度考察し、意見を述べるができる。(DP4課題の探究・表現) (DP5友愛) ・サービス接客検定2級レベルまたは接客サービスマナー検定2級レベルの知識・技能がある程度身につけている。(DP3専門的なスキル)
ビジネス実務を学ぶA	文科 専門教育科目 各コース共通	1	2	ビジネスの場面が必要とされる適切な判断力やマナー、話し方など、ビジネスにおける基本的なルールを身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス実務マナー検定3級レベルの知識・技能が十分に身につけており、適切な判断力やマナー、話し方を踏まえて実務を遂行できる。(DP3専門的なスキル) (DP5友愛) (DP6リーダーシップ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス実務マナー検定3級レベルの知識・技能がある程度身につけており、適切な判断力やマナー、話し方がある程度踏まえて実務を遂行できる。(専DP3専門的なスキル) (DP5友愛) (DP6リーダーシップ)
ビジネス実務を学ぶB	文科 専門教育科目 各コース共通	1	2	ビジネスの場面が必要とされる適切な判断力・マナー・話し方など、ビジネスにおいて応用できるルールを身につける。また、ビジネス文書作成の知識とパソコンでの文書作成に関する基本的な技能を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス実務マナー検定2級レベルの知識・技能が十分に身につけており、適切な判断力やマナー、話し方を踏まえて実務を遂行できる。(専門的なスキル) (友愛) (リーダーシップ) ・ビジネス文書作成の知識と技能の基本が十分に身につけており、ビジネス文書検定3級レベルのビジネス文書の作成ができる。(専門的なスキル) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス文書作成の知識と技能の基本がある程度身につけていて、ビジネス文書検定3級レベルのビジネス文書の作成ができる。(DP3専門的なスキル)
日本語教育を学ぶ	文科 専門教育科目 各コース共通	1	2	日本国内および海外における日本語教育事情を学ぶ。日本語を外国語として学ぶ非母語話者の視点から日本語の音声、文法、文字語彙を捉え直して、日本語教師としての基礎知識を習得する。多様な日本語学習者のニーズに応えられるように、対象者別・目的別の日本語教育の方法について学ぶ。日本語学習者との交流を通して、異文化間コミュニケーションの実践のあり方を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外における日本語教育事情について学び、とくに多文化共生社会へと移行しつつある日本国内の日本語学習者の現状について理解を深める。(DP1幅広い教養) ・日本語学習者との交流を通して、異文化間コミュニケーションにおける対話の重要性を知り、実践できる。(DP2社会への主体的な参画) ・日本語教師に必要な日本語教育文法、日本語の音声、語彙、文字表記に関する知識を修得する。(DP3専門的なスキル) ・日本語教師の仕事の概要、教師としての適性、日本語教師に求められている資質についての問題意識と向上心を身に付け、社会への主体的な参画ができる。(DP4課題の探究・表現) ・背景の異なる他者とも対話し、協働し、友愛と結びつくリーダーシップを発揮できる。(DP5友愛・リーダーシップ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外における日本語教育事情について学び、とくに多文化共生社会へと移行しつつある日本国内の日本語学習者の現状について知る。(DP1幅広い教養) ・日本語学習者との交流を通して、異文化間コミュニケーションにおける対話の重要性を学ぶ。(DP2社会への主体的な参画) ・日本語教師に必要な日本語教育文法、日本語の音声、語彙、文字表記に関する知識を学ぶ。(DP3専門的なスキル) ・日本語教師の仕事の概要、教師としての適性、日本語教師に求められている資質についての問題意識と向上心の重要性を知る。(DP4課題の探究・表現) ・背景の異なる他者とも対話し、協働し、友愛と結びつくリーダーシップについて学ぶ。(DP5友愛・リーダーシップ)

科目名称	科目区分	配当年次	単位数	科目概要	到達目標（成績評価A）	単位修得目標（成績評価C）
卒業研究	文科 専門教育科目 各コース共通	2	4	授業を通して、自分の選択したテーマについて、適切な方法を用いて研究を進め、最終的に卒業研究としての論文・創作小説・レポートあるいはプレゼンテーション（以下「卒業研究」）を完成できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の研究テーマについて明確なビジョンを持つことができるようになる。（DP3専門的なスキル） 長文の「卒業研究」のためのしっかりとした文章力を身につける。（DP4課題の探求・表現） 優れた「卒業研究」を完成させる力を修得する。（DP4課題の探求・表現） 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の研究テーマについてビジョンを持つことができるようになる。（DP3専門的なスキル） 長文の「卒業研究」のための一定の文章力を身につけることができるようになる。（DP4課題の探求・表現） 「卒業研究」を完成させるための一定の力を修得する。（DP4課題の探求・表現）
ことばの仕組みⅠ	文科 専門教育科目 日本文化・表現 コース	1	2	この授業では、現代日本語を対象として「文法」とは何かを理解する。文法以外では文字表記、語彙、語構成や語義において、どのようなことばの仕組みがあるのかを、身の回りの使用例で考えながら理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 授業を通して、ことばが伝達されるためのことばの仕組みについて基本的な仕組みや規則についてしっかりと理解できるようになる。（DP1幅広い教養） ことばの仕組みについての積極的な関心を持つことができるようになる。（DP2社会への主体的な参画） 	<ul style="list-style-type: none"> 授業を通して、ことばが伝達されるためのことばの仕組みについて基本的な仕組みや規則について一定の理解ができるようになる。（DP1幅広い教養） ことばの仕組みについて関心を持つことができるようになる。（DP2社会への主体的な参画）
ことばの仕組みⅡ	文科 専門教育科目 日本文化・表現 コース	1・2	2	ことばによるコミュニケーション（話す/聞く、書く/読む）は、語（単語）をルールに従って使うことによって成り立っているが、そのルールのなかでも、語から「文」を組み立てることは、最も重要なものの一つである。この授業では、語から文を組み立てるとはどのようなことであるのかを中心テーマの一つとして、ことばのルール、伝達の中でのことばの「意味」について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ある出来事を伝達する手段としてのことばについての役割やその組み立て方についてしっかりと知識を有している。（DP1幅広い教養） また、その基本的なことばの役割や仕組みについて、現代日本語の具体例を通して理解出来るようになる。（DP1幅広い教養） 言葉の仕組みや現代日本語について積極的な関心を抱くことができるようになる。（DP2社会への主体的な参画） 	<ul style="list-style-type: none"> ある出来事を伝達する手段としてのことばについての役割やその組み立て方について一定の基本的な知識を身につける。（DP1幅広い教養） また、その基本的なことばの役割や仕組みについて、現代日本語の具体例を通して一定の理解ができる。（DP1幅広い教養） 言葉の仕組みや現代日本語についてある程度関心を抱くようになる。（DP2社会への主体的な参画）
現代のことばⅠ	文科 専門教育科目 日本文化・表現 コース	1・2	2	現代日本語を対象にして、言語学の考え方を学ぶ。中でも、身近な言語使用を対象とする社会言語学について学ぶ。具体的には、方言、若者言葉、ジェンダー、ボライトネス、待遇表現、人物詞、言語政策等について理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> 言語学に必要な観点を習得し、様々な観点で自分が使っている日本語と他人が使っている日本語を比較する能動的な態度を身につけている。（DP2社会への主体的な参画） ことばをことばで説明することの難しさや楽しさを積極的に味わうことができるようになる。（DP1幅広い教養）友愛と結びつくリーダーシップを発揮できる。（DP6友愛・リーダーシップ）文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションをし、テーマに対して出た答えを伝えることができる。（DP4課題の探求・表現） 	<ul style="list-style-type: none"> 言語学に必要な観点を習得し、様々な観点で自分が使っている日本語と他人が使っている日本語を比較する態度を身につける。（社会への主体的な参画） ことばをことばで説明することの難しさや楽しさについて味わうことができるようになる。（DP1幅広い教養）友愛と結びつくリーダーシップを発揮できる。（DP6友愛・リーダーシップ）文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションをし、テーマに対して出た答えを伝えることができる。（DP4課題の探求・表現）
現代のことばⅡ	文科 専門教育科目 日本文化・表現 コース	1・2	2	現代日本語を対象にして、日本語学を学ぶ。話し言葉と書き言葉の差異を学び、慣用表現、敬語、伝達のための機能表現のトレーニングを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 現代の日本語の文法を学ぶための基本的な考え方をしっかりと理解できるようになる。（DP1幅広い教養） 基本的な文法の知識を十分身につける。（DP1幅広い教養） 言語にとっての文法の持つ意味についてしっかりと理解できるようになる。（DP4課題の探求・表現）文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションをし、テーマに対して出た答えを伝えることができ、社会への主体的な参画ができる。（DP4課題の探求・表現） 	<ul style="list-style-type: none"> 現代の日本語の文法を学ぶための基本的な考え方を理解できるようになる。（DP1幅広い教養） 基本的な文法の知識をある程度有している。（DP1幅広い教養） 言語にとっての文法の持つ意味について一定の理解ができるようになる。（DP1課題の探求・表現）文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションをし、テーマに対して出た答えを伝えることができ社会への主体的な参画ができる。（DP1課題の探求・表現）

科目名称	科目区分	配当年次	単位数	科目概要	到達目標（成績評価A）	単位修得目標（成績評価C）
日本文学・文化の歴史（古典）	文科 専門教育科目 日本文化・表現 コース	1	2	日本文学の歴史は1400年に及び、一つの授業で全体をフォローすることは難しく、「文学」という概念が成立した近代以降、以前と分けるのが一般的である。この授業では、その概念が成立する前の文学（古典文学）と、それに関連する文化を扱う。古代人が、国内外の社会状況に左右されながら、どのように日本固有の美意識・価値観を創造し、文学をはじめとする多様な文化のなかに継承していったのかを理解する。とくに以下の点に留意する。文学・文化を歴史的に学び、それらを生んだ時代や社会的背景を理解する。また、文学作品を多角的に読む力や、分析する力を獲得する。	<ul style="list-style-type: none"> 文学・文化に強い興味・関心を持ち、日本の古典文学や文化の歴史について詳しい知識を身につけ、それらについて自分の言葉で他者にわかりやすく表現することができる。（DP1幅広い教養） 文学・文化の生まれる歴史的社会的背景について深く分析することができる。（DP1幅広い教養） 歴史的社会的背景を踏まえて文学・文化を多角的に捉え、新たなものの見方に繋げることができる。（DP4課題の探究・表現） 文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションをし、テーマに対する自分なりの答えを見だし、他者にわかりやすく伝えることができ、社会への主体的な参画ができる。（DP4課題の探究・表現） 	<ul style="list-style-type: none"> 文学・文化に強い興味・関心を持ち、日本の古典文学や文化の歴史について知識を身につけ、それらについて表現することができる。（DP1幅広い教養） 文学・文化の生まれる歴史的社会的背景について分析することができる。（DP1幅広い教養） 歴史的社会的背景を踏まえて文学・文化を多角的に捉え、新たなものの見方に繋げることがある程度できる。（DP4課題の探究・表現） 文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションをし、テーマに対して出た答えを伝えることができ、社会への主体的な参画ができる。（DP4課題の探究・表現）
日本文学・文化の歴史（近現代）	文科 専門教育科目 日本文化・表現 コース	1	2	日本文学の歴史は1400年に及び、一つの授業で全体をフォローすることは難しく、「文学」という概念が成立した近代以降、以前と分けるのが一般的である。近代以降の文学では、西洋的知見の流入とともにいかにして「近代文学」が成立し、展開したかを理解する。とくに以下の点に留意する。文学作品を通して、日本文学の流れを理解し、その作品を生んだ文化的背景や、言語表現の歴史等を学び、文学作品や文化的事象を多角的に読む力や、分析する力を獲得する。	<ul style="list-style-type: none"> 日本の近代文学・文化の歴史について詳しく知り、それを説明出来る知識を獲得する。（DP1幅広い教養） 文学作品の生まれる歴史的な背景について深く分析する能力を身につけ、それをとおして日本の文化についての興味・関心をもつ。（DP1幅広い教養） 歴史的な背景を踏まえて文学作品や文化的事象を多角的に分析する力を身につけ、新たなものの見方につなげることができる。（DP4課題の探究・表現） 文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションし、自分なりの答えを見だし、他者にわかりやすく言葉で表現し、説明することができる、社会への主体的な参画ができる。（DP4課題の探究・表現） 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の近代文学・文化の歴史について知り、それを説明出来る知識を獲得する。（DP1幅広い教養） 文学作品の生まれる歴史的な背景について分析する能力を身につけ、それをとおして日本の文化についての興味・関心をもてるようになる。（DP1幅広い教養） 歴史的な背景を踏まえて文学作品や文化的事象を分析する力を身につけ、自分の世界を広げることができる。（DP4課題の探究・表現） 文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションし、答えを見だし、他者に説明することができ、社会への主体的な参画ができる。（DP4課題の探究・表現）
物語を読む	文科 専門教育科目 日本文化・表現 コース	1	2	中学・高校の古典授業で取り上げられるような著名な作品を、時間をかけて原文を読み進め、古典文学の魅力味わい、新しい発見を重ねてゆく。現代と古典作品の時代との生活や習慣、価値観の違いを学ぶ一方、感じ方や人を感じる気持ちが同じことに改めて気づき、文学作品の可能性と奥深さを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 古典の原文に触れて、そのことばと内容を深く理解し、現代の小説を読むように楽しんで読めるようになる。（DP1幅広い教養） 話の筋や展開だけでなく、歴史的な時代の習俗や風俗を学ぶことで、普通に思える現代の価値観や生活観が、時代と共に変化するものだと深く理解できるようになる。（DP1幅広い教養） 古典作品が時代を超えた人間の普遍的な姿を描いていることをしっかりと理解できるようになる。（DP1幅広い教養） さまざまなテーマでグループディスカッションし、自分なりの答えを見だし、他者にわかりやすく言葉で表現し、説明することができ、社会への主体的な参画ができる。（DP5友愛・リーダーシップ） 	<ul style="list-style-type: none"> 古典の原文に触れて、そのことばと内容を理解し、ある程度楽しんで読めるようになる。（DP1幅広い教養） 話の筋や展開だけでなく、歴史的な時代の習俗や風俗を学ぶことで、普通に思える現代の価値観や生活観が、時代と共に変化するものだと理解できるようになる。（DP1幅広い教養） 古典作品が時代を超えた人間の普遍的な姿を描いていることをある程度理解できるようになる。（DP1幅広い教養） さまざまなテーマでグループディスカッションし、答えを見だし、他者に説明することができ社会への主体的な参画ができる。（DP4課題の探究・表現）友愛と結びつくリーダーシップを発揮できる。（DP5友愛・リーダーシップ）
近代小説を読む	文科 専門教育科目 日本文化・表現 コース	1	2	日本の近代小説を取り上げ精読することをおして、時代背景、表現の方法、文化的コンテキスト、作家の思想、文学的な主題を理解する。また、小説を読むための技法を学び、今後の読書生活の幅を広げる。	<ul style="list-style-type: none"> 日本の近代小説を味読するためのしっかりと基礎力を身につける。（DP1幅広い教養） また、日本の近代文学についての基礎的教養を養うことができるようになる。（DP1幅広い教養） 文学を楽しむことをとおして、自分を見つめ直す力を育み、さらに日本文化の歴史・日本人の感性についての理解を深める。（DP1幅広い教養） 文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションし、自分なりの答えを見だし、他者にわかりやすく言葉で表現し、説明することができ、社会への主体的な参画ができる。（DP4課題の探究・表現）友愛と結びつくリーダーシップを発揮できる。（DP5友愛・リーダーシップ） 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の近代小説を味読するための基礎力を身につける。（DP1幅広い教養） また、日本の近代文学についての基礎的教養を養うことができるようになる。（DP1幅広い教養） 文学を楽しむことをとおして、自分を見つめ直す力を育み、さらに日本文化の歴史・日本人の感性についての一定の理解を身につける。（DP1幅広い教養） 文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションし、答えを見だし、他者に説明することができ社会への主体的な参画ができる。（DP4課題の探究・表現）友愛と結びつくリーダーシップを発揮できる。（DP5友愛・リーダーシップ）

科目名称	科目区分	配当年次	単位数	科目概要	到達目標（成績評価A）	単位修得目標（成績評価C）
物語の研究Ⅰ	文科 専門教育科目 日本文学・表現 コース	2	2	この授業では、古典文学の基礎的知識に基づいて、当時の社会性を理解するとともに、文学の持つ有用性についても考察できる力を養う。現在文学といえど多様な文章術の一つとしか見ない人もいるが、かつては文章自体が威力を持つこともあった。文学はその時代にどのような役割を果たしたのか、読解をとおして理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の原文に触れて、ことばと内容を深く理解できるようになる。(DP1幅広い教養) ・和歌のことばや題材、詠みぶりといった韻文特有のことば・表現についての詳しい知識を有している。(DP1幅広い教養) ・自分なりのテーマで和歌を使つての積極的な表現ができるようになる。その際、受講者全員の前で映像や音を用いて効果的な発表ができるようになる。(DP4課題の探究・表現) 	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の原文に触れて、その基本的なことばと内容を理解できるようになる。(DP1幅広い教養) ・和歌のことばや題材、詠みぶりといった韻文特有のことば・表現に親しむことができるようになる。(DP1幅広い教養) ・自分なりのテーマで和歌を使つての表現ができるようになる。その際、受講者全員の前で発表ができるようになる。(DP4課題の探究・表現)
物語の研究Ⅱ	文科 専門教育科目 日本文学・表現 コース	2	2	長い重厚な文学が大きな内容を持つとは限らない。量は少なくともその背後に大きな時代の現実を見させてくれる作品も多い。いわば小さな窓を開いて広い外界を眺めるようなものだ。古典文学の小さな作品から、当時の現実を読み取る。ことばとその補助資料から立体的に文学の描く世界を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の原文に触れて、そのことばと内容を深く理解できるようになる。(DP1幅広い教養) ・説話特有の文脈展開がわかり、物語や随筆など他の文体を持つ文学との差異を理解できるようになる。(DP1幅広い教養) ・当時の地図や絵画、また日記や文書といった史料が、文学の理解の上で不可欠であることを具体的に知るようになる。(DP1幅広い教養) 	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の原文に触れて、そのことばと内容を理解できるようになる。(DP1幅広い教養) ・説話特有の文脈やはなしの展開の早さを理解できるようになる。(DP1幅広い教養) ・当時の地図や絵画、また日記や文書といった史料がおもしろいということを知るようになる。(DP1幅広い教養)
近代小説の研究Ⅰ	文科 専門教育科目 日本文学・表現 コース	2	2	近代文学の作品を取り上げ精読することをおして、時代背景、表現の方法、文化的コンテクスト、作家の思想、文学的な主題を理解する。また、近代文学の研究方法を学び、自分なりに文学を読み深める実践的なノウハウを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の近代文学を味読するためのしっかりとした応用力を身につける。(DP1幅広い教養) ・また、日本の近代文学についての教養を深めることができるようになる。(DP1幅広い教養) ・文学作品を読むことをとおして自分を見つめ直し、感性を磨くと同時に言語能力を高めることができるようになる。(DP4課題の探究・表現) ・自らすすんで文学に関わろうとする積極的な問題意識を養うことができるようになる。(DP1幅広い教養) 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の近代文学を味読するための能力を身につける。(DP1幅広い教養) ・また、日本の近代文学についての教養を深めることができるようになる。(DP1幅広い教養) ・文学作品を読むことをとおして自分を見つめ直し、感性を磨くと同時に言語能力を高めることができるようになる。(DP4課題の探究・表現) ・自らすすんで文学に関わろうとする問題意識を養うことができるようになる。(DP1幅広い教養)
近代小説の研究Ⅱ	文科 専門教育科目 日本文学・表現 コース	2	2	近代文学の作品を取り上げ精読することをおして、時代背景、表現の方法、文化的コンテクスト、作家の思想、文学的な主題を理解する。また、近代文学の研究方法を学び、自分なりに文学を読み深める実践的なノウハウを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の近代文学を味読するための応用力を身につける。(DP1幅広い教養) ・また、日本の近代文学についての教養を深めることができるようになる。(DP1幅広い教養) ・文学作品を読むことをとおして自分を見つめ直し、感性を磨くと同時に言語能力を高めることができるようになる。(DP4課題の探究・表現) ・自らすすんで文学に関わろうとする能動的な問題意識を養うことができるようになる。(DP1幅広い教養) 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の近代文学を味読するための能力を身につける。(DP1幅広い教養) ・また、日本の近代文学についての教養を深めることができるようになる。(DP1幅広い教養) ・文学作品を読むことをとおして自分を見つめ直し、言語能力を高めることができるようになる。(DP4課題の探究・表現) ・自らすすんで文学に関わろうとする問題意識を養うことができるようになる。(DP1幅広い教養)

科目名称	科目区分	配当年次	単位数	科目概要	到達目標（成績評価A）	単位修得目標（成績評価C）
児童文学論	文科 専門教育科目 日本文化・表現 コース	1	2	児童文学を中心に、文学以外の諸分野の作品も扱いながら、近・現代の子どもの文化を考察する。児童文学は子どもをめぐる状況を映す鏡であり、作品の読みを通じて近・現代の子どもをめぐる問題について考えることができる。子ども文化史や児童文学史をテキストに使い、評価の高い作品を多く取りあげ、日本の近代が作りあげてきた子ども文化を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの文化について考えるための手がかりを知る。（DP2社会への主体的な参画） 明治の古典的作品から現代の作品までを対象にしながら、子ども文化の一例としての児童文学の成り立ちについて具体的に説明ができる。（DP1幅広い教養） 児童文学をとおして、子どもがどのような状況におかれていたのか、家族のあり方はどのようなだったのかを自分のことばをもちいて具体的に説明することができる。（DP1幅広い教養） 児童文学に反映された子どもをめぐる状況や問題意識を見出し、批判・評価することができる。（DP4課題の探求・表現）文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションをし、テーマに対して出た答えを伝えることができる。（DP4課題の探求・表現） 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの文化について考えるための一定の手がかりを知る。（DP2社会への主体的な参画） 明治の古典的作品から現代の作品までを対象にしながら、子ども文化の一例としての児童文学の成り立ちについて一定の説明ができる。（DP1幅広い教養） 児童文学をとおして、子どもがどのような状況におかれていたのか、家族のあり方はどのようなだったのかについて、一定の説明ができる。（DP1幅広い教養） 児童文学に反映された子どもをめぐる状況や問題意識について一定の反応を示すことができる。（DP4課題の探求・表現）文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションをし、テーマに対して出た答えを伝えることができる。（DP4課題の探求・表現）
アニメの物語学	文科 専門教育科目 日本文化・表現 コース	1・2	2	「物語」とは何かについてまず考える。「物語」の定義は難しいよういて難しい。授業では、まず「物語」についての定義を考え、その定義を用いて豊かな物語性に溢れた日本のアニメとくに宮崎駿のアニメについて学んでいく。まずは、日本のアニメの歴史を世界のアニメの歴史と比較しながら日本アニメの特徴を理解し、そこにどのような物語の文体が買われているかを学ぶ。さらに宮崎駿の作品の分析を通して、物語性、文化・思想的背景、込められたメッセージなどを読解する。そして宮崎アニメを手がかりに、アニメの「物語」が持つ意義について考察し「物語」の本質をより深く理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 抽象的な「物語」について多様な角度から考察し定義することができる。（DP1幅広い教養） グリム童話からディズニーアニメまでの流れを時代背景などを踏まえて的確に説明できる。（DP4課題の探求・表現） 戦後の日本のアニメを時代のかかわりや物語性の観点から的確に説明できる。（DP1幅広い教養） 宮崎駿の作品について、物語性や時代性、文化や思想という観点から要点的に説明できる。（DP1幅広い教養） 物語という観点からアニメ作品について深く論じることができる。（DP4課題の探求・表現） 文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションをし、テーマに対して出た答えを伝えることができる。（DP4課題の探求・表現） 	<ul style="list-style-type: none"> 抽象的な「物語」についてある一定の定義ができる。（DP1課題の探求・表現） グリム童話からディズニーアニメまでの流れをおおまかに説明できる。（DP4課題の探求・表現） 戦後の日本のアニメを時代のかかわりや物語性の観点から一定の説明ができる。（幅広い教養） 宮崎駿の作品について、物語性や時代性、文化や思想という観点からおおまかに説明できる。（DP1幅広い教養） 物語という観点からアニメ作品について論じることができる。（DP1課題の探求・表現） 文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションをし、テーマに対して出た答えを伝えることができる。（DP4課題の探求・表現）
映画・演劇論	文科 専門教育科目 日本文化・表現 コース	1・2	2	19世紀末に誕生した映画は、それまでにない「第7」の芸術として独自性をめざす一方、20世紀を通して大衆娯楽産業として発達する。その過程で様々な演劇ジャンルから多くの刺激と影響を受けてきた。例えば、西洋の近代劇やオペラやミュージカル、日本の伝統芸能（能、文楽、歌舞伎）、中国の京劇などといった演劇と、映画の歴史はどう交差してきたのか。できるだけ多様な映像資料を参照しつつ、それらを通して映画と演劇について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 映画と演劇に関する基本的な知識をしっかりと修得する。（DP1幅広い教養） 映画と演劇の社会的文化的背景にも目を向けながら作品を批評的に読む力をきちんと身につけている。（DP1幅広い教養） 自らの意見を説得的に表現できる力をしっかりと修得する。（DP4課題の探求・表現）文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションをし、テーマに対して出た答えを伝えることができる。（DP4課題の探求・表現） 	<ul style="list-style-type: none"> 映画と演劇に関する基本的な知識を修得する。（DP1幅広い教養） 映画と演劇の社会的文化的背景にも目を向けながら、作品を自分なりに読む力を身につける。（DP1幅広い教養） 自らの意見を説得的に表現できる一定の力を身につける。（DP4課題の探求・表現） 文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションをし、テーマに対して出た答えを伝えることができる。（DP4課題の探求・表現）
文学創作演習	文科 専門教育科目 日本文化・表現 コース	1・2	2	教員の指導のもと、学生が実際に小説の創作を試みる授業である。いくつかの小説（短編）や文章を読み、作品を肌で感じ、そのうえで、実際に作品を書いてみる。作品を創作する創造性や文章力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> 創作の準備としていくつかの小説（短編）や文章を読み込む力がしっかりと身につける。（DP1幅広い教養） 作品を実際に書く力をしっかりと修得する。（DP3専門的なスキル） 作品を創作する創造性や文章力を身につけ実践できる。（DP4課題の探求・表現）文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションをし、テーマに対して出た答えを伝えることができ、社会への主体的な参画ができる。（DP4課題の探求・表現） 	<ul style="list-style-type: none"> 創作の準備としていくつかの小説（短編）や文章を読み込む一定の能力を身につける。（DP1幅広い教養） 作品を実際に書く力が身につける。（DP3専門的なスキル） 作品を創作する創造性や文章力を修得する。（DP4課題の探求・表現）文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションをし、テーマに対して出た答えを伝えることができ、社会への主体的な参画ができる。（DP4課題の探求・表現）

科目名称	科目区分	配当年次	単位数	科目概要	到達目標（成績評価A）	単位修得目標（成績評価C）
映像メディア論	文科 専門教育科目 日本文化・表現 コース	1	2	さまざまな映像メディアを利用したドキュメンタリーやコメディ、CM、アニメなどの映像事例をおとして、研究活動や卒業後に必要になってくる映像メディアの見方・利用のスキルを習得する。また、グループディスカッションをおとして、ひとつの映像に対する捉え方の多様さを知り、映像メディアをどのように扱うか、より現実的・実践的に考える力を身につける。	・ドキュメンタリーやコメディ、CM、アニメなどの様々な映像メディアを、メディアの見方・利用のスキルを用いて分析し、説明することができる。（DP1幅広い教養） ・映像メディアの情報に対する問題点やそれについての考え方を、自分のことばをもちいて具体的に説明することができる。（DP4課題の探究・表現） 文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションをし、テーマに対して出た答えを伝えることができる。（DP4課題の探究・表現） 言語・文学・文化の学修を通して、社会を生き抜くためのコミュニケーション・スキルを身に付けている。（DP3専門的なスキル）	・ドキュメンタリーやコメディ、CM、アニメなどの様々な映像メディアについて、メディアの見方・利用のスキルを用いて一定の分析や説明ができる。（DP1幅広い教養） ・映像メディアの情報に対する問題点やそれについての考えについて、一定の説明ができる。（DP4課題の探究・表現） 文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションをし、テーマに対して出た答えを伝えることができる。（DP4課題の探究・表現） 言語・文学・文化の学修を通して、社会を生き抜くためのコミュニケーション・スキルを身に付けている。（DP3専門的なスキル）
日本文化・表現ゼミナール	文科 専門教育科目 日本文化・表現 コース	1	2	授業を通して自分の研究テーマを見つけ、そのテーマについて調べ発表し、最後にレポートを完成させる。日本の文化やことばについてのより深い知識を習得し、またそれについての意見や考えを述べる力、レポートを完成させる能力を養う。	・日本の文化やことばについて、研究すべき自分のテーマを明確に見つけ出すことができるようになる。（DP4課題の探究・表現） ・日本の文化やことばについてより深い知識を身につけている。（DP1幅広い教養） ・自分のテーマについて説得力ある意見を述べ、また他人の発表について積極的に意見を述べる事ができるようになる。（DP4課題の探究・表現） ・レポートの書き方がしっかりと身につける。（DP3専門的なスキル） ・文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションし、自分なりの答えを見だし、他者にわかりやすく言葉で表現し、説明することができ、社会への主体的な参画ができる。（DP4課題の探究・表現） 友愛と結びつくリーダーシップを発揮できる。（DP5友愛・リーダーシップ）	・日本の文化やことばについて、研究すべき自分のテーマを見つけ出すことができるようになる。（DP1課題の探究・表現） ・日本の文化やことばについて基本的な知識をもつ。（DP1幅広い教養） ・自分のテーマについて意見を述べ、また他人の発表について意見を述べる事ができるようになる。（DP4課題の探究・表現） ・基本的なレポートの書き方を身につける。（専門的なスキル） ・文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションし、答えを見だし、他者に説明することができ、社会への主体的な参画ができる。（DP4課題の探究・表現） 友愛と結びつくリーダーシップを発揮できる。（DP5友愛・リーダーシップ）
Speaking (Basic)	文科 専門教育科目 グローバル・コミュニケーション コース	1	2	スピーキングの力を向上させ、語彙を増やして、スピーチやアナウンスなど、まとまった内容を英語で表現する技術を学び、実用英語技能検定（英検）準2級～2級レベルのスピーキング力を身につけ、ジェスチャーや抑揚などの表現技術についても学ぶ。	・スピーチなどのまとまった量の情報を英語で正確に表現できる。（DP1幅広い教養）（DP3専門的なスキル） ・特定のテーマについて十分に考察し、英語で的確に自分の考えを発信することができる。（DP4課題の探究・表現）（DP6リーダーシップ） ・実用英語技能検定（英検）準2級～2級レベルの英会話に必要な語彙を十分に身につけ、使用できる。（DP1幅広い教養）（DP3専門的なスキル）	・スピーチなどのまとまった量の情報を英語である程度表現できる。（DP1幅広い教養）（DP3専門的なスキル） ・特定のテーマについて考察し、英語である程度自分の考えを発信することができる。（DP4課題の探究・表現）（DP6リーダーシップ） ・実用英語技能検定（英検）準2級～2級レベルの英会話に必要な語彙をある程度身につけ、使用できる。（DP1幅広い教養）（DP3専門的なスキル）
Speaking (Intermediate)	文科 専門教育科目 グローバル・コミュニケーション コース	1	2	スピーキングの力を向上させ、語彙を増やして、スピーチやアナウンスなど、まとまった内容を英語で表現する技術を学び、実用英語技能検定（英検）2級～準1級レベルのスピーキング力を身につけ、ジェスチャーや抑揚などの表現技術についても学ぶ。	・スピーチなどのまとまった量の情報を英語で正確に表現できる。（DP1幅広い教養）（DP3専門的なスキル） ・特定のテーマについて十分に考察し、英語で的確に自分の考えを発信することができる。（DP4課題の探究・表現）（DP6リーダーシップ） ・実用英語技能検定（英検）2級～準1級レベルの英会話に必要な語彙を十分に身につけ、使用できる。（DP1幅広い教養）（DP3専門的なスキル）	・スピーチなどのまとまった量の情報を英語である程度表現できる。（DP1幅広い教養）（DP3専門的なスキル） ・特定のテーマについて考察し、英語である程度自分の考えを発信することができる。（DP4課題の探究・表現）（DP6リーダーシップ） ・実用英語技能検定（英検）2級～準1級レベルの英会話に必要な語彙をある程度身につけ、使用できる。（DP1幅広い教養）（DP3専門的なスキル）

科目名称	科目区分	配当年次	単位数	科目概要	到達目標（成績評価A）	単位修得目標（成績評価C）
Pronunciation	文科 専門教育科目 グローバル・コミュニケーション コース	1	2	英語の個々の音声の特徴や発音の仕方、音の強弱・連続・脱落、句や文のイントネーションやリズムなどを理解し、英語の標準的な発音技術を実践的に身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の個々の音声の特徴を理解し、発音を正確に行うことができる。（DP1幅広い教養）（DP3専門的なスキル） ・英語の音の強弱・連続・脱落やイントネーションやリズムを理解し、句や文の発音を正確に行うことができる。（DP1幅広い教養）（DP3専門的なスキル） 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の個々の音声の特徴を理解し、発音をある程度正確に行うことができる。（DP1幅広い教養）（DP3専門的なスキル） ・英語の音の強弱・連続・脱落やイントネーションやリズムを理解し、句や文の発音をある程度正確に行うことができる。（DP1幅広い教養）（DP3専門的なスキル）
Writing (Basic)	文科 専門教育科目 グローバル・コミュニケーション コース	1	2	文法的に正しい英文の構造を学び、語彙やパラグラフ・ライティングのための基礎を身につける。また、実用英語技能検定（英検）の準2級～2級レベルの英作文問題に対応できるライティング技術を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・英文法の知識を十分に身につけ、パラグラフの英作文を正確に行うことができる。（DP1幅広い教養）（DP3専門的なスキル） ・特定のテーマについて十分に考察し、的確に英語で表現することができる。（DP4課題の探究・表現） ・実用英語技能検定（英検）準2級～2級レベルの英作文に必要な語彙を十分に身につけ、使用できる。（DP1幅広い教養）（DP3専門的なスキル） 	<ul style="list-style-type: none"> ・英文法の知識を十分に身につけ、パラグラフの英作文をある程度行うことができる。（DP1幅広い教養）（DP3専門的なスキル） ・特定のテーマについて考察し、英語である程度表現することができる。（DP4課題の探究・表現） ・実用英語技能検定（英検）準2級～2級レベルの英作文に必要な語彙をある程度身につけ、使用できる。（DP1幅広い教養）（DP3専門的なスキル）
Writing (Intermediate)	文科 専門教育科目 グローバル・コミュニケーション コース	1	2	文法的に正しい英文の構造を学び、語彙やパラグラフ・ライティングのための基礎を身につける。また、実用英語技能検定（英検）の2級～準1級レベルの英作文問題に対応できるライティング技術を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・英文法の知識を十分に身につけ、パラグラフの英作文を正確に行うことができる。（DP1幅広い教養）（DP3専門的なスキル） ・特定のテーマについて十分に考察し、的確に英語で表現することができる。（DP4課題の探究・表現） ・実用英語技能検定（英検）2級～準1級レベルの英作文に必要な語彙を十分に身につけ、使用できる。（DP1幅広い教養）（DP3専門的なスキル） 	<ul style="list-style-type: none"> ・英文法の知識を十分に身につけ、パラグラフの英作文をある程度行うことができる。（DP1幅広い教養）（DP3専門的なスキル） ・特定のテーマについて考察し、英語である程度表現することができる。（DP4課題の探究・表現） ・実用英語技能検定（英検）2級～準1級レベルの英作文に必要な語彙をある程度身につけ、使用できる。（DP1幅広い教養）（DP3専門的なスキル）
TOEIC Listening & Reading I(Basic)	文科 専門教育科目 グローバル・コミュニケーション コース	1	2	英語の語彙・文法・リーディング・リスニングを総合的に学び、TOEIC400点程度を取得できる英語力を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC400点程度の取得に必要な語彙、文法の知識、リーディング、リスニングの技術が十分に身につけている(DP1幅広い教養)(DP3専門的なスキル)。 ・社会生活の中で英語による基礎的なビジネス・コミュニケーションを十分に実践できる(DP2社会への主体的な参画)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC400点程度の取得に必要な語彙、文法の知識、リーディング、リスニングの技術がある程度身につけている(DP1幅広い教養)(DP3専門的なスキル)。 ・社会生活の中で英語による基礎的なビジネス・コミュニケーションをある程度実践できる(DP2社会への主体的な参画)。
TOEIC Listening & Reading II(Intermediate)	文科 専門教育科目 グローバル・コミュニケーション コース	1	2	英語の語彙・文法・リーディング・リスニングを総合的に学び、TOEIC600点程度を取得できる英語力を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC600点程度の取得に必要な語彙、文法の知識、リーディング、リスニングの技術が十分に身につけている(DP1幅広い教養)(DP3専門的なスキル)。 ・社会生活の中で英語による基礎的なビジネス・コミュニケーションを十分に実践できる(DP2社会への主体的な参画)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC600点程度の取得に必要な語彙、文法の知識、リーディング、リスニングの技術がある程度身につけている(DP1幅広い教養)(DP3専門的なスキル)。 ・社会生活の中で英語による基礎的なビジネス・コミュニケーションをある程度実践できる(DP2社会への主体的な参画)。

科目名称	科目区分	配当年次	単位数	科目概要	到達目標（成績評価A）	単位修得目標（成績評価C）
TOEIC Listening & Reading II(Basic)	文科 専門教育科目 グローバル・コミュニケーション コース	1	2	英語の語彙・文法・リーディング・リスニングを総合的に学び、TOEIC500点以上を取得できる英語力を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC500点程度の取得に必要な語彙、文法の知識、リーディング、リスニングの技術が十分に身につけている(DP1幅広い教養)(DP3専門的なスキル)。 ・社会生活の中で英語による基礎的なビジネス・コミュニケーションを十分に実践できる(DP2社会への主体的な参画)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC500点程度の取得に必要な語彙、文法の知識、リーディング、リスニングの技術がある程度身につけている(DP1幅広い教養)(DP3専門的なスキル)。 ・社会生活の中で英語による基礎的なビジネス・コミュニケーションをある程度実践できる(DP2社会への主体的な参画)。
TOEIC Listening & Reading II(Intermediate)	文科 専門教育科目 グローバル・コミュニケーション コース	1	2	英語の語彙・文法・リーディング・リスニングを総合的に学び、TOEIC700点以上を取得できる英語力を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC700点程度の取得に必要な語彙、文法の知識、リーディング、リスニングの技術が十分に身につけている(DP1幅広い教養)(DP3専門的なスキル)。 ・社会生活の中で英語による基礎的なビジネス・コミュニケーションを十分に実践できる(DP2社会への主体的な参画)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC700点程度の取得に必要な語彙、文法の知識、リーディング、リスニングの技術がある程度身につけている(DP1幅広い教養)(DP3専門的なスキル)。 ・社会生活の中で英語による基礎的なビジネス・コミュニケーションをある程度実践できる(DP2社会への主体的な参画)。
ビジネス英語	文科 専門教育科目 グローバル・コミュニケーション コース	2	2	実際のビジネスシーン（電話応対・会議・交渉・接客等）におけるコミュニケーションツールとしての英語力を身に付け、日商ビジネス英語検定中級レベルの英語力修得を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・国際ビジネスの様々な場面（電話応対・会議・交渉・接客等）において、グローバル社会の一員として、英語コミュニケーションを十分に実践できる。（DP3専門的なスキル）（DP2社会への主体的な参画） ・国際ビジネスの様々な場面（電話応対・会議・交渉・接客等）において十分なリーダーシップとチームワークを発揮できる。（DP6リーダーシップ）（DP5友愛） 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際ビジネスの様々な場面（電話応対・会議・交渉・接客等）において、グローバル社会の一員として、英語コミュニケーションをある程度実践できる。（DP3専門的なスキル）（DP2社会への主体的な参画） ・国際ビジネスの様々な場面（電話応対・会議・交渉・接客等）においてリーダーシップとチームワークをある程度発揮できる。（DP6リーダーシップ）（DP5友愛）
プレゼンテーションスキル	文科 専門教育科目 グローバル・コミュニケーション コース	2	2	就職や編入後の学修に必要な英語でのプレゼンテーションやスピーチの技術を身につけ、説得力・情報発信力・自己表現力を高め、正確な発音や表現力も身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に課題を探究・考察し、プレゼンテーションやスピーチを英語で適切に行い、社会に対して自分の考えを的確に発信できる。（DP2社会への主体的な参画）（DP3専門的なスキル）（DP4課題の探究・表現）（DP6リーダーシップ） ・PowerPointの知識を十分に身に付け、適切に使用できる。（DP3専門的なスキル） 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に課題を探究・考察し、プレゼンテーションやスピーチを英語である程度適切に行い、社会に対して自分の考えをある程度発信できる。（DP2社会への主体的な参画）（DP3専門的なスキル）（DP4課題の探究・表現）（DP6リーダーシップ） ・PowerPointの知識をある程度身に付け、適切に使用できる。（DP3専門的なスキル）
映画で楽しむアメリカ文学	文科 専門教育科目 グローバル・コミュニケーション コース	2	2	英語圏の特定の作家、あるいは特定の分野についての知識を身につける。複数の作品を読み解き、その作家および分野の特性を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・英語圏の文学作品についての的確な分析・考察ができる。（DP3専門的なスキル） ・作品に描かれている人物像や、作品の背景である文化・社会・時代について深く考察できる。（DP1幅広い教養） ・ディスカッション等で積極的に自分の考えを発信し、他の人の意見を十分に理解することができる。（DP5友愛）（DP6リーダーシップ） ・学んだ作品について引証に基づいた説得力のある意見を十分に論じることができる。（DP4課題の探究・表現） 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品に描かれている人間や社会の様々な側面について深く考察し、意見を述べる事ができる。（DP1幅広い教養）（課題の探究・表現） ・ディスカッション等で自分の考えを発信し、他の人の意見をある程度理解することができる。（DP5友愛）（DP6リーダーシップ） ・学んだ作品について、引証に基づいた意見がある程度論じることができる。（DP4課題の探究・表現）

科目名称	科目区分	配当年次	単位数	科目概要	到達目標（成績評価A）	単位修得目標（成績評価C）
映画で学ぶ英語	文科 専門教育科目 グローバル・コミュニケーション コース	1	2	英語圏の映画を題材にして、台詞の内容や時代背景などを学習・理解し、英語の語彙や口語表現を身につける。	・英語の日常表現を正確に解釈できる。（DP1幅広い教養）（DP3専門的なスキル） ・ナチュラルスピードの英語を正確に聞き取ることができる。（DP3専門的なスキル） ・日常生活に関することを自然な英語で的確に表現できる。（DP3専門的なスキル） ・映画の社会的・文化的背景を十分に理解している。（DP1幅広い教養）	・英語の日常表現をある程度解釈できる。（DP1幅広い教養）（DP3専門的なスキル） ・ナチュラルスピードの英語をある程度聞き取ることができる。（DP3専門的なスキル） ・日常生活に関することを自然な英語である程度表現できる。（DP3専門的なスキル） ・映画の社会的・文化的背景をある程度理解している。（DP1幅広い教養）
ポップソングで学ぶ英語	文科 専門教育科目 グローバル・コミュニケーション コース	1	2	英語の歌を題材にして、歌詞の内容や時代背景などを理解し、英語の語彙や口語表現を身につける。	・英語の歌詞の内容を正確に解釈できる。（DP3専門的なスキル） ・英語圏の歌の社会的・文化的背景を十分に理解できる。（DP1幅広い教養） ・授業で学んだ英語表現を会話の場面で的確に使用できる。（DP3専門的なスキル）（DP5友愛）	・英語の歌詞の内容をある程度解釈できる。（DP3専門的なスキル） ・英語圏の歌の社会的・文化的背景をある程度理解できる。（DP1幅広い教養） ・授業で学んだ英語表現を会話の場面である程度使用できる。（DP3専門的なスキル）（DP5友愛）
エアポート・エアライン研究	文科 専門教育科目 グローバル・コミュニケーション コース	1	2	航空業界の業務が必要とされる英語の語彙や口語表現を身につけ、インバウンドの接客に必要な異文化間コミュニケーションの在り方を理解する。また、航空業界に関する知識を身につけ、客室乗務員やグランドスタッフに関する職種理解を深める。	・航空業界の業務が必要とされる英語の語彙や口語表現を的確に使用できる。（DP3専門的なスキル） ・インバウンドの接客に必要な異文化理解の知識を十分に応用し、様々な文化圏の人たちと円滑にコミュニケーションができる。（DP1幅広い教養）（DP5友愛） ・航空業界の考察を通して、航空業界の職業人として必要とされる知識や技術が理解できる。（DP2社会への主体的な参画）	・航空業界の業務が必要とされる英語の語彙や口語表現をある程度使用できる。（DP3専門的なスキル） ・インバウンドの接客に必要な異文化理解の知識を身に付け、様々な文化圏の人たちと基礎的なコミュニケーションができる。（DP1幅広い教養）（DP5友愛） ・航空業界の考察を通して、航空業界の職業人として必要とされる知識や技術がある程度理解できる。（DP2社会への主体的な参画）
ホスピタリティ・ツーリズムの英語	文科 専門教育科目 グローバル・コミュニケーション コース	1	2	観光関連のホスピタリティ産業において、インバウンドに対応する際に必要な英語の語彙や口語表現・文語表現を身につける。また、インバウンドの接客に必要な異文化間コミュニケーションの知識も身につける。観光英語検定試験(2級～3級)取得の準備ができる。	・観光関連のホスピタリティ産業に従事する際に必要とされる英語の語彙や口語表現・文語表現を的確に使用できる。（DP3専門的なスキル） ・インバウンドの接客に必要な異文化理解の知識を十分に応用し、様々な文化圏の人たちと円滑にコミュニケーションができる。（DP1幅広い教養）（DP5友愛） ・観光関連のホスピタリティ産業への考察を通して、接客者として必要とされる知識や技術が理解できる。（DP2社会への主体的な参画）	・観光関連のホスピタリティ産業に従事する際に必要とされる英語の語彙や口語表現・文語表現をある程度使用できる。（DP3専門的なスキル） ・インバウンドの接客に必要な異文化理解の知識を身に付け、様々な文化圏の人たちと基礎的なコミュニケーションができる。（DP1幅広い教養）（DP5友愛） ・観光関連のホスピタリティ産業への考察を通して、接客者として必要とされる知識や技術がある程度理解できる。（DP2社会への主体的な参画）
幼児教育・保育英語	文科 専門教育科目 グローバル・コミュニケーション コース	1	2	幼児教育・保育英語検定試験3級取得を目指し、幼児教育・保育英語に必要な知識・技能を学び、保育環境の国際的なグローバル化に対応できる能力や技術を身につける。	・幼児教育・保育英語に関連する基礎的な英語の知識を十分に身につけている。（専門的なスキル） ・幼児への適切な接し方を理解し、各自の個性を尊重した指導を実践できる。（社会への主体的な参画）（専門的なスキル）（友愛）（リーダーシップ）	・幼児教育・保育英語に関連する基礎的な英語の知識をある程度身につけている。（専門的なスキル） ・幼児への適切な接し方がある程度理解し、各自の個性を尊重した指導を実践できる。（社会への主体的な参画）（専門的なスキル）（友愛）（リーダーシップ）

科目名称	科目区分	配当年次	単位数	科目概要	到達目標（成績評価A）	単位修得目標（成績評価C）
ハワイ短期留学	文科 専門教育科目 グローバル・コミュニケーション コース	1	2	学生が自らの意志において、異文化（米国ハワイ）との交流を積極的に行って、豊かな人間性を涵養する。海外の協定校で行われる海外研修（外国語の修得と異文化体験を目的とする）への参加を通じて高い倫理性・責任感の養成や異文化理解をめざす。	<ul style="list-style-type: none"> 自己意志による海外研修への参加を通して、積極性が身につく、自分の人生観や世界観を広げることができるようになる。（DP2社会への主体的な参画） 創造的に人生を送るための問題意識や好奇心をしっかりと身につけることができるようになる。（DP1幅広い教養） 日常生活に必要な英語の実用会話力が十分に身に付いている。（DP3専門的なスキル） 米国社会やハワイ文化について深く理解し、現地の人々と積極的に交流できる。（DP1幅広い教養）（DP2社会への主体的な参画）（DP5友愛） 	<ul style="list-style-type: none"> 自己意志による海外研修への参加を通して、積極性が身につく、自分の人生観や世界観をある程度広げることができるようになる。（DP2社会への主体的な参画） 創造的に人生を送るための問題意識や好奇心をある程度身につけることができるようになる。（DP1幅広い教養） 日常生活に必要な英語の実用会話力がある程度身に付いている。（DP3専門的なスキル） 米国社会やハワイ文化についてある程度理解し、現地の人々と交流できる。（DP1幅広い教養）（DP2社会への主体的な参画）（DP5友愛）
ニュージーランド短期留学	文科 専門教育科目 グローバル・コミュニケーション コース	1	2	学生が自らの意志において、異文化（ニュージーランド）との交流を積極的に行って、豊かな人間性を涵養する。海外の協定校で行われる海外研修（外国語の修得と異文化体験を目的とする）への参加を通じて高い倫理性・責任感の養成や異文化理解をめざす。	<ul style="list-style-type: none"> 自己意志による海外研修への参加を通して、積極性が身につく、自分の人生観や世界観を広げることができるようになる。（DP2社会への主体的な参画） 創造的に人生を送るための問題意識や好奇心をしっかりと身につけることができるようになる。（DP1幅広い教養） 日常生活に必要な英語の実用会話力が十分に身に付いている。（DP3専門的なスキル） ニュージーランドの社会や文化について深く理解し、現地の人々と積極的に交流できる。（DP1幅広い教養）（DP2社会への主体的な参画）（DP5友愛） 	<ul style="list-style-type: none"> 自己意志による海外研修への参加を通して、積極性が身につく、自分の人生観や世界観をある程度広げることができるようになる。（DP2社会への主体的な参画） 創造的に人生を送るための問題意識や好奇心をある程度身につけることができるようになる。（DP1幅広い教養） 日常生活に必要な英語の実用会話力がある程度身に付いている。（DP3専門的なスキル） ニュージーランドの社会や文化についてある程度理解し、現地の人々と交流できる。（DP1幅広い教養）（DP2社会への主体的な参画）（DP5友愛）
フランス短期留学	文科 専門教育科目 グローバル・コミュニケーション コース	1	2	学生が自らの意志において、異文化（フランス）との交流を積極的に行って、豊かな人間性を涵養する。海外の協定校で行われる海外研修（外国語の修得と異文化理解を目的とする）への参加を通じて高い倫理性・責任感の養成や異文化理解を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 自己意志による海外研修への参加を通して、積極性が身につく、自分の人生観や世界観を広げることができるようになる。（DP2社会への主体的な参画） 創造的に人生を送るための問題意識や好奇心をしっかりと身につけることができるようになる。（DP1幅広い教養） 日常生活に必要なフランス語の実用会話力が十分に身に付いている。（DP3専門的なスキル） フランスの社会や文化について深く理解し、現地の人々と積極的に交流できる。（DP1幅広い教養）（DP2社会への主体的な参画）（DP5友愛） 	<ul style="list-style-type: none"> 自己意志による海外研修への参加を通して、積極性が身につく、自分の人生観や世界観をある程度広げることができるようになる。（DP2社会への主体的な参画） 創造的に人生を送るための問題意識や好奇心をある程度身につけることができるようになる。（DP1幅広い教養） 日常生活に必要なフランス語の実用会話力がある程度身に付いている。（DP3専門的なスキル） フランスの社会や文化についてある程度理解し、現地の人々と交流できる。（DP1幅広い教養）（DP2社会への主体的な参画）（DP5友愛）
中国短期留学	文科 専門教育科目 グローバル・コミュニケーション コース	1	2	学生が自らの意志において、異文化（中国）との交流を積極的に行って、豊かな人間性を涵養する。海外の協定校で行われる海外研修（外国語の修得と異文化理解を目的とする）への参加を通じて高い倫理性・責任感の養成や異文化理解を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 自己意志による海外研修への参加を通して、積極性が身につく、自分の人生観や世界観を広げることができるようになる。（DP2社会への主体的な参画） 創造的に人生を送るための問題意識や好奇心をしっかりと身につけることができるようになる。（DP1幅広い教養） 日常生活に必要な中国語の実用会話力が十分に身に付いている。（DP3専門的なスキル） 中国の社会や文化について深く理解し、現地の人々と積極的に交流できる。（DP1幅広い教養）（DP2社会への主体的な参画）（DP5友愛） 	<ul style="list-style-type: none"> 自己意志による海外研修への参加を通して、積極性が身につく、自分の人生観や世界観をある程度広げることができるようになる。（DP2社会への主体的な参画） 創造的に人生を送るための問題意識や好奇心をある程度身につけることができるようになる。（DP1幅広い教養） 日常生活に必要な中国語の実用会話力がある程度身に付いている。（DP3専門的なスキル） 中国の社会や文化についてある程度理解し、現地の人々と交流できる。（DP1幅広い教養）（DP2社会への主体的な参画）（DP5友愛）

科目名称	科目区分	配当年次	単位数	科目概要	到達目標（成績評価A）	単位修得目標（成績評価C）
韓国短期留学	文科 専門教育科目 グローバル・コミュニケーション コース	1	2	学生が自らの意志において、異文化（韓国）との交流を積極的に行って、豊かな人間性を涵養する。海外の協定校で行われる海外研修（外国語の修得と異文化体験を目的とする）への参加を通じて高い倫理性・責任感の養成や異文化理解をめざす。	<ul style="list-style-type: none"> 自己意志による海外研修への参加を通して、積極性が身につく、自分の人生観や世界観を広げることができるようになる。（DP2社会への主体的な参画） 創造的に人生を送るための問題意識や好奇心をしっかりと身につけることができるようになる。（DP1幅広い教養） 日常生活に必要な韓国語の実用会話力が十分に付いている。（DP3専門的なスキル） 韓国の社会や文化について深く理解し、現地の人々と積極的に交流できる。（DP1幅広い教養）（DP2社会への主体的な参画）（友愛） 	<ul style="list-style-type: none"> 自己意志による海外研修への参加を通して、積極性が身につく、自分の人生観や世界観をある程度広げることができるようになる。（DP2社会への主体的な参画） 創造的に人生を送るための問題意識や好奇心をある程度身につけることができるようになる。（DP1幅広い教養） 日常生活に必要な韓国語の実用会話力がある程度身につけている。（DP3専門的なスキル） 韓国の社会や文化についてある程度理解し、現地の人々と交流できる。（DP1幅広い教養）（DP2社会への主体的な参画）（DP5友愛）
心理学概論	文科 専門教育科目 心理学コース	1	2	心理学概論は、学習・記憶・言語・思考・情動・性格・自己等の心理学のトピックを幅広く学ぶ。認知心理学、社会心理学、発達心理学、臨床心理学等の心理学の専門分野を学ぶための基礎知識を身につけ、社会の現象や人間の行動を心理学的な視点からとらえなおす。	<ul style="list-style-type: none"> 心理学の専門的知識をふまえて、様々な状況に応じた他者を尊重した関わりについて自分の考えを表現できる。（DP1幅広い教養） 複数の心理学的アプローチを用いて、現代社会の問題と心理学の関連性を説明できる。（DP2社会への主体的な参画） 複数の心理学的アプローチを用いて、現代社会の問題と心理学の関連性を説明できる。（DP3専門的なスキル） 人間の行動（自分の行動及び他者の行動）を心理学的観点から解釈できる。（DP4課題の探究・表現） 	<ul style="list-style-type: none"> 心理学の知識をふまえて、他者を尊重した関わりについて自分の考えを表現できる。（DP1幅広い教養） 現代社会の問題と心理学の関連性を説明できる。（DP2社会への主体的な参画） 心理学研究法の考え方を説明できる。（DP3専門的なスキル） 人間の行動（自分の行動）を心理学的観点から解釈できる。（DP4課題の探究・表現）
心理測定法（パーソナリティ検査）	文科 専門教育科目 心理学コース	1	2	心理学の測定的手法を身につける。また、心理検査を実施することを通してパーソナリティの概念を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 複数の心理学領域の倫理規定に基づき、倫理的配慮について説明できる。（DP2社会への主体的な参画） 目的に応じた複数の心理検査を用いてパーソナリティを測定できる。（DP3専門的なスキル） 心理検査の目的・成り立ち・検査への批判をふまえて、検査結果を解釈できる。（DP3専門的なスキル） 特徴をふまえて、複数のパーソナリティの測定法について説明できる。（DP4課題の探究・表現） 	<ul style="list-style-type: none"> 倫理的配慮について説明できる。（DP2社会への主体的な参画） 心理検査を用いてパーソナリティを測定できる。（DP3専門的なスキル） 検査結果を解釈できる。（DP3専門的なスキル） パーソナリティの測定法について説明できる。（DP4課題の探究・表現）
発達心理学Ⅰ	文科 専門教育科目 心理学コース	1	2	人間の発達の各時期において、どのような課題が存在するかを理解する。幼児期、児童期における心理的、社会的、身体的な発達と発達を阻害する要因を考察する。	<ul style="list-style-type: none"> 現代の社会的相互作用における課題を自ら同定し、複数の発達理論の観点から説明できる。（DP2社会への主体的な参画） 発達時期をふまえて、幼児期・児童期の発達に関する認知的、情動的、社会的要因等のすべてを説明できる。（DP4課題の探究・表現） 	<ul style="list-style-type: none"> 現代の社会的相互作用における課題を、発達理論の観点から説明できる。（DP2社会への主体的な参画） 発達時期をふまえて、幼児期・児童期の発達に関する認知的、情動的、社会的要因等のすべてを説明できる。（DP4課題の探究・表現）
発達心理学Ⅱ	文科 専門教育科目 心理学コース	1	2	人間の発達の各時期において、どのような課題が存在するかを理解する。青年期、成人期、老年期における心理的、社会的、身体的な発達と発達を阻害する要因を考察する。	<ul style="list-style-type: none"> 現代の社会的相互作用における課題を自ら同定し、複数の発達理論の観点から説明できる。（DP2社会への主体的な参画） 発達時期をふまえて、青年期、成人期、老年期の発達に関する認知的、情動的、社会的要因等のすべてを説明できる。（DP4課題の探究・表現） 	<ul style="list-style-type: none"> 現代の社会的相互作用における課題を、発達理論の観点から説明できる。（DP2社会への主体的な参画） 青年期、成人期、老年期の発達に関する認知的、情動的、社会的要因等を説明できる。（DP4課題の探究・表現）

科目名称	科目区分	配当年次	単位数	科目概要	到達目標（成績評価A）	単位修得目標（成績評価C）
認知心理学	文科 専門教育科目 心理学コース	1	2	知覚・記憶・思考・言語にわたる認知心理学の基礎を、幅広く学ぶことを目的とする。認知の基礎的なメカニズムを理解するとともに、認知心理学がどのように応用されているのかという面も理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で学んだことを日常生活と結びつけて説明できるようになる。（DP2 社会への主体的な参画） ・日常生活の出来事について認知心理学的な関心をもてるようになる。（DP2 社会への主体的な参画） ・認知心理学的なトピックスについて、調べることができるようになる。（DP4 課題の探究・表現） ・認知心理学の基礎的な知見を幅広く身につけ、説明できるようになる。（DP4 課題の探究・表現） 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で学んだことを日常生活と結びつけておおまかに説明できるようになる。（DP2 社会への主体的な参画） ・日常生活の出来事について認知心理学的な関心を少しもてるようになる。（DP2 社会への主体的な参画） ・認知心理学的なトピックスについて、おおまかに調べることができるようになる。（DP4 課題の探究・表現） ・認知心理学の基礎的な知見を身につけ、おおまかに説明できるようになる。（DP4 課題の探究・表現）
教育心理学	文科 専門教育科目 心理学コース	1	2	学習者を理解し、適切な支援を提供するために必要な心理学の基礎理論を理解する。また、学校教育に関する諸問題への対応策を考察する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育心理学の知見を利用して複数の教育の課題を自ら同定し、課題の詳細を説明できる。（DP2 社会への主体的な参画） ・教育心理学の知識や研究方法に関する発展的な事項を相互に関連づけて説明できる。（DP4 課題の探究・表現） 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育心理学の知見を利用して、教育の課題を説明できる。（DP2 社会への主体的な参画） ・教育心理学の知識や研究方法に関する基本的な事項を説明できる。（DP4 課題の探究・表現）
児童福祉論	文科 専門教育科目 心理学コース	1	2	児童福祉の理念や意義、現代社会における児童の成長、発達と実態、児童福祉に関する法とサービス体系について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉分野における施策と実践における課題を自分で見出し、実践への提言を表現できる。（DP2 社会への主体的な参画） ・児童福祉の基本理念・変遷・法制度等の発展的な事項を関連づけて説明できる。（DP4 課題の探究・表現） 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者の助けを借りて、社会福祉分野における施策と実践における課題を見出すことができる。（DP2 社会への主体的な参画） ・児童福祉の基本理念・変遷・法制度等の基本的な事項を説明できる。（DP4 課題の探究・表現）
音楽とところ	文科 専門教育科目 心理学コース	1	2	この講義では、「聴く」という行為と「ところ」のありかたの関係について考察する。聴覚は、視覚、触覚、味覚、嗅覚、また自己受容性の感覚と、どのような点が異なっており、また、それらとどのように関わりあって私たちのところを動かしているのかを考察する。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の音楽経験と聴く姿勢を見つめ直し、これまで知らなかった音や音楽の世界への耳を開くことによって、聴く行為が、「私」というものの形成にどのように関わっているかについて主体的に解釈することができる。（DP2 社会への主体的な参画）（DP4 課題の探究・表現） 	<ul style="list-style-type: none"> ・聴く行為が、「私」というものの形成にどのように関わっているかについて解釈することができる。（DP2 社会への主体的な参画）（DP4 課題の探究・表現）
臨床心理学 I	文科 専門教育科目 心理学コース	1	2	臨床心理学全般にわたる知識を、幅広く学ぶ。臨床心理学の基礎的な考え方を理解するとともに、その実践の初歩についても、理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患への対応にある程度の関心をもって聞かれる。（DP2 社会への主体的な参画） ・精神疾患への初歩的な対応ができるようになる。（DP3 専門的なスキル） ・実例や理論や自己洞察により、臨床心理学の基礎について説明できるようになる。（DP4 課題の探究・表現） ・心理テストなどで自己について洞察し、表現できるようになる。（DP4 課題の探究・表現） 	<ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患への対応に最低限の関心をもって聞かれる。（DP2 社会への主体的な参画） ・精神疾患へ最低限の対応ができるようになる。（DP3 専門的なスキル） ・実例や理論や自己洞察により、臨床心理学の基礎についておおまかに説明できるようになる。（DP4 課題の探究・表現） ・心理テストなどで自己について洞察し、おおまかに表現できるようになる。（DP4 課題の探究・表現）

科目名称	科目区分	配当年次	単位数	科目概要	到達目標（成績評価A）	単位修得目標（成績評価C）
臨床心理学Ⅱ	文科 専門教育科目 心理学コース	1	2	具体的な実践例、たとえば人格障害・うつ病・統合失調症・対人恐怖症・不登校などの例を通じて、実践学としての臨床心理学について、深く理解する。また、DSM-Vという診断基準の学習を行い、精神の病について理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患への対応に大きな関心をもって関われる。（DP2 社会への主体的な参画） ・精神疾患への対応がかなりできるようになる。（DP3 専門的なスキル） ・実例や理論や自己洞察により、臨床心理学の応用について説明できるようになる。（DP4 課題の探究・表現） ・心理テストなどで自己についてより深く洞察し、詳しく表現できるようになる。（DP4 課題の探究・表現） 	<ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患への対応に関心をもって関われる。（DP2 社会への主体的な参画） ・精神疾患への対応がおおまかにできるようになる。（DP3 専門的なスキル） ・実例や理論や自己洞察により、臨床心理学の応用についておおまかに説明できるようになる。（DP4 課題の探究・表現） ・心理テストなどで自己について洞察し、ある程度表現できるようになる。（DP4 課題の探究・表現）
健康心理学	文科 専門教育科目 心理学コース	1	2	健康心理学は心理学的アプローチを用いてメンタルヘルス及び疾病と健康の問題を扱おうとするものである。健康の維持、ストレスへの対処、患者の意思決定等のトピックから健康心理学の視点を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の健康が身体・精神の両面から支えられていることを、健康心理学の概念を用いて考察できる。（DP2 社会への主体的な参画） ・健康の維持や病気の予防へのアプローチについて系統立てて説明できる。（DP4 課題の探究・表現） 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の健康が身体・精神の両面から支えられていることを考察できる。（DP2 社会への主体的な参画） ・健康の維持や病気の予防へのアプローチについて基本的な事項を説明できる。（DP4 課題の探究・表現）
カウンセリング論	文科 専門教育科目 心理学コース	1	2	カウンセリングの基礎を身につけ、日常にも活かせる聴き方など、さまざまな技法を習得する。さらに、実際にカウンセリングの練習をして、初歩的なカウンセリング方法について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・他人の話を深く傾聴できるようになる。（DP3 専門的なスキル） ・ロールプレイによって、相手の気持ちを解釈できるようになる。（DP3 専門的なスキル） ・自分のストレスを適切に表現できるようになり、カウンセリングへの洞察ができるようになる。（DP3 専門的なスキル） ・他人の悩みに対してアドバイスができるようになる。（DP5 友愛） 	<ul style="list-style-type: none"> ・他人の話をおおまかに傾聴できるようになる。（DP3 専門的なスキル） ・ロールプレイによって、相手の気持ちをおおまかに解釈できるようになる。（DP3 専門的なスキル） ・自分のストレスをおおまかに表現できるようになり、カウンセリングへの洞察がおおまかにできるようになる。（DP3 専門的なスキル） ・他人の悩みに対して初歩的なアドバイスができるようになる。（DP5 友愛）
精神障害者保健福祉論	文科 専門教育科目 心理学コース	1	2	様々な身体・精神の障がいをもつ利用者の支援に必要な知識、スタッフとしての働き方、利用者への対応について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉、ソーシャルワークのパラダイムについて説明できるようになる。（DP2 社会への主体的な参画） ・援助者同士の「共通言語」の模索の仕方、「協働」の仕方について説明できるようになる。（DP2 社会への主体的な参画） ・各種援助技法、構え、諸手続きなどの知識を具体的に説明できるようになる。（DP4 課題の探究・表現） ・各種福祉援助機関への利用者のアクセスを支援する知識を具体的に説明できるようになる。（DP4 課題の探究・表現） ・福祉援助ネットワークのイメージを説明できるようになる。（DP4 課題の探究・表現） ・福祉と心理の共通点と違いについて説明できるようになる。（DP4 課題の探究・表現） ・様々な心身の障がいの症状についての知識を具体的に説明できるようになる。（DP4 課題の探究・表現） 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉についての説明を試みようことができる。（DP2 社会への主体的な参画） ・精神の障がいについての説明を試みようことができる。（DP2 社会への主体的な参画） ・援助技法の基礎的な説明ができるようになる。（DP4 課題の探究・表現）
アートセラピーと化粧の心理学	文科 専門教育科目 心理学コース	1	2	アートの視点から心理学を学び、多様な心のチャンネル、アンテナを広げる。また、「化粧をする、しない、外見」を超えて、幸福感（ウェルビーイング）をもって自分らしく過ごす「公的自己意識、私的自己意識」などについて考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・アートセラピーを体験して、援助技法として学問的に身に付けることができる。（DP3 専門的なスキル） ・アートセラピーの技法の学問的意味を理解することができる。（DP4 課題の探究・表現） ・「化粧行動の心理」の知見、理論について身に付けることができる。（DP4 課題の探究・表現） ・「多様性」の一つとしての「化粧」、世論、価値観、外観について学生間で議論を行い、自分の軸をもって、自己受容、他者受容など考えることができる。（DP5 友愛） 	<ul style="list-style-type: none"> ・アートセラピーを体験することができる。（DP3 専門的なスキル） ・アートセラピーの理論技法について、学ぼうとする姿勢を示すことができる。（DP4 課題の探究・表現） ・「化粧行動の心理」の理論について、基礎的な知識を説明できる。（DP4 課題の探究・表現） ・化粧行動についての、様々な価値観について、取り組んで考察しようとする姿勢を示すことができる。（DP5 友愛）

科目名称	科目区分	配当年次	単位数	科目概要	到達目標（成績評価A）	単位修得目標（成績評価C）
社会心理学	文科 専門教育科目 心理学コース	1	2	人が様々な人と関わりを持ちながら日常生活を営む場が社会である。人はその社会の中で常に他の人に心理的な影響を与え、そして与えられている。その影響というものは良い影響を及ぼすものであれば良いが、必ずしもそういうわけではない。特に現代社会はストレス社会と言われるくらいに、様々な影響を社会から受ける状態である。しかし、人が生活を営んでいくために社会の中でストレスにうまく立ち回る必要がある。では、「なぜそう感じるのか?」、「それはなぜなのか?」、「どうしたらいいのか?」という心への問いかけについて、社会との関わりを考えながら、考察する。	<ul style="list-style-type: none"> 外部刺激（他の人、環境）から様々な影響を受けたときに、人間がどう行動、態度を取るのかについて、実際の事例と関連づけて考察できる。（DP2 社会への主体的な参画） 社会心理学における「社会」の概念を、複数の具体例を挙げて説明できる。（DP4 課題の探究・表現） 	<ul style="list-style-type: none"> 外部刺激（他の人、環境）から様々な影響を受けたときに、人間がどう行動、態度を取るのかについて考察できる。（DP2 社会への主体的な参画） 社会心理学における「社会」の概念を説明できる。（DP4 課題の探究・表現）
消費者の心理	文科 専門教育科目 心理学コース	1	2	消費者心理をとらえることの重要性を学ぶことは、今後、社会に出て、社会に貢献していくために、考え方の基本を形成することになる。どのように社会にかかわろうと、消費者心理、つまり、事業における相手の心理を掴み、家庭における、家族の気持ちに寄り添っていくことは、よりよい社会生活を送るベースとなる。多くの企業が「顧客視点」を掲げているが、本当に顧客視点に立つということはどういうことを具体的に商品開発の過程を通して学ぶ。いくつかの事例について学び、各自の消費行動を振り返り、さらに社会動向から、顧客視点にたった商品サービスを提案してみる。	<ul style="list-style-type: none"> 企業が消費者心理に基づいて提供しているサービスや商品を知り、社会動向の分析を行うことができる。（DP2 社会への主体的な参画） 消費行動や企業活動についての知識をベースに、顧客視点に立った商品やサービスを提案、発表することができる。（DP2 社会への主体的な参画） 企業活動（商品、サービスの提供）と消費者心理とが密接に関連していることを理解し、消費者の心理がよい企業を育て、よい社会をつくるということを説明できる。（DP4 課題の探究・表現） 	<ul style="list-style-type: none"> 社会動向の分析を行うことができる。（DP2 社会への主体的な参画） 商品やサービスを提案、発表することができる。（DP2 社会への主体的な参画） 消費者の心理がよい企業を育て、よい社会をつくるということを説明できる。（DP4 課題の探究・表現）
パーソナリティ心理学	文科 専門教育科目 心理学コース	1	2	パーソナリティを理解するための理論と測定法に関する知識を習得する。類型論から特性論への展開、パーソナリティに影響を与える生物学的要因と社会的要因の多様性等を考察する。	<ul style="list-style-type: none"> 現代の社会的相互作用における課題を自ら同定し、複数のパーソナリティ理論の観点から説明できる。（DP2 社会への主体的な参画） 複数のパーソナリティ理論を比較し、その違いをふまえて各理論の特徴を説明できる。（DP4 課題の探究・表現） 遺伝的・社会的要因の影響をふまえて、パーソナリティの形成過程を説明できる。（DP4 課題の探究・表現） 	<ul style="list-style-type: none"> 現代の社会的相互作用における課題を、パーソナリティ理論の観点から説明できる。（DP2 社会への主体的な参画） パーソナリティ理論の特徴を説明できる。（DP4 課題の探究・表現） パーソナリティの形成過程を説明できる。（DP4 課題の探究・表現）
心理データ解析演習(SPSS)	文科 専門教育科目 心理学コース	1	2	心理学では、実験、観察、面接、調査等の方法により人間の行動の法則性を見いだそうとしている。この科目では調査法で得られたデータを統計ソフトのSPSSを用いて解析を行い、レポート（調査報告書）の作成を通して、実証的な研究の進め方を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 心理調査を行う際の倫理的な配慮の必要性について知り、心理調査の目的に沿った適切な調査を実施できる。（DP3 専門的なスキル） 統計ソフトウェア（SPSS）を用いたデータの入力および目的に沿った適切な分析を行うことができる。（DP3 専門的なスキル） 得られた結果をもとに論理的な考察を行い、適切な表やグラフを用いたレポートを作成できる。（DP3 専門的なスキル） 実証的な研究の進め方について理解し、尺度水準や質的データと量的データ、独立変数と従属変数などの違いについて説明できる。（DP4 課題の探究・表現） 	<ul style="list-style-type: none"> 心理調査の目的に沿った調査を実施できる。（DP3 専門的なスキル） 統計ソフトウェア（SPSS）を用いたデータの入力および分析を行うことができる。（DP3 専門的なスキル） 得られた結果をもとに考察を行い、表やグラフを用いたレポートを作成できる。（DP3 専門的なスキル） 尺度水準や質的データと量的データ、独立変数と従属変数などの違いについて説明できる。（DP4 課題の探究・表現）
コミュニケーション心理	文科 専門教育科目 心理学コース	1	2	人間関係、集団、自己に関する心理学の知見を学び、コミュニケーションを多面的に理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 心理学の知見を、主体的に豊かなコミュニケーションの実践に役立てることができるようになる。（DP2 社会への主体的な参画） コミュニケーションに関する心理学の知見や研究方法を系統立てて説明できる。（DP4 課題の探究・表現） 	<ul style="list-style-type: none"> 心理学の知見を豊かなコミュニケーションの実践に役立てることができるようになる。（DP2 社会への主体的な参画） コミュニケーションに関する心理学の知見や研究方法の基本的な事項を説明できる。（DP4 課題の探究・表現）

科目名称	科目区分	配当年次	単位数	科目概要	到達目標（成績評価A）	単位修得目標（成績評価C）
文学に見る行動心理	文科 専門教育科目 心理学コース	1	2	心理学は日本の文学に大きな影響を与えてきた。人間の行動を心理のレベルで解釈する心理学的手法に影響を受けた作品の分析を中心に、人間の行動心理について考察する。	<ul style="list-style-type: none"> 心理学が文学に与えた影響を具体例と関連づけて説明できる。（DP4 課題の探究・表現） 心理学のキーワードを使って心理学の歴史的背景をふまえた作品分析ができる。（DP4 課題の探究・表現） 	<ul style="list-style-type: none"> 心理学が文学に与えた影響を説明できる。（DP4 課題の探究・表現） 心理学のキーワードを使って作品分析ができる。（DP4 課題の探究・表現）
心理学ゼミナール	文科 専門教育科目 心理学コース	1	2	2年次に卒業論文の作成を進める上で必要となる心理学的研究法を修得することを目的とする。文献講読により心理学論文を理解するために必要な統計的検定や心理学論文の問いの立て方を理解し、研究を進めるための技術や思考法を修得する。また、質疑応答や議論等により他者と互いに協力しながら研究を進める姿勢を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> 関連する情報を収集し、自分で発表テーマを設定できる（DP1 幅広い教養）。 先行研究との関連を示し、専門的知識をふまえて発表内容を説明できる。（DP2 社会への主体的な参画） 心理学研究として適切な研究課題の選択方法やレジュメ作成に必要な知識を相互に関連づけて説明できる。（DP3 専門的なスキル） ゼミナール活動に必要な発表の技術を学び、適切な方法で活用できる。（DP3 専門的なスキル） 文献講読の担当発表を行い、発表内容について社会における意義や心理学領域での重要性を関連情報に基づいて表現できる。（DP4 課題の探究・表現） 文献講読の担当発表や質疑応答の過程において、他者に配慮して、適切な関係を構築できる。（DP5 友愛） 文献講読の担当発表や質疑応答において、他者の意見を尊重しながら意見交換を行い、課題を解決しようとする意欲を示すことができる。（DP6 リーダーシップ） 	<ul style="list-style-type: none"> 指定された範囲から、発表テーマを設定できる。（DP1 幅広い教養） 発表内容を説明できる。（DP2 社会への主体的な参画） レジュメ作成に必要な知識を説明できる。（DP3 専門的なスキル） 発表の技術を学び、部分的に活用できる。（DP3 専門的なスキル） 文献講読の担当発表を行い、発表内容について、心理学領域での重要性を表現できる。（DP4 課題の探究・表現） 文献講読の担当発表や質疑応答の過程において、他者に配慮できたが、関係を構築することができない。（DP5 友愛） 文献講読の担当発表や質疑応答において、課題を解決しようとする意欲を示すことができる。（DP6 リーダーシップ）